

平成26年度 病害虫発生予察注意報 第2号

平成26年6月6日
栃木県農業環境指導センター

作物名：果樹類（なし・りんご・もも・うめ・ぶどう等）

病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）

- 発生予想 発生量 多い
- 発生地域 県内全域
- 注意報発表の根拠
 - 果樹の主要害虫であるチャバネアオカメムシは5月のフェロモントラップによる総誘殺数が県内5箇所調査地点で年平均比179～400%と多い（表1）。
 - 環境省によると、本年のスズギ・ヒノキの花粉飛散量が少ないため、餌となるきゅう果(実)の量も少ないことが予想され、山林からの飛来時期が早まる可能性が高い。
 - 気象庁の1か月予報は高温傾向であり、果樹カメムシ類の活動に適している。

表1 5月のフェロモントラップによるチャバネアオカメムシ

総誘殺数(頭)	那須烏山市		宇都宮市		佐野市	
	羽山	矢板市	(農試) 古賀志	古賀志	古賀志	古賀志
平成26年度	9	100	311	175	240	240
平成25年度	1	63	12	89	18	18
平成24年度	12	129	154	212	394	394
平成23年度	0	37	2	26	22	22
平成22年度	2	24	69	143	45	45
平成21年度	4	63	137	115	138	138
平成20年度	0	46	148	51	49	49
平成19年度	3	62	74	78	65	65
平成18年度	3	21	104	83	174	174
平成17年度	0	7	21	14	14	14
平成16年度	4	106	56	141	127	127
年平均	3	56	78	95	105	105
年平均比(%)	310	179	400	184	229	229



写真 チャバネアオカメムシ成虫

- 防除対策
 - こまめに園内をよく観察し、飛来が認められたら薬剤で防除する（表2）。
 - 多目的防災網を完全展開し、園全体をすき間無く被覆する。
 - 有袋栽培では、早めに袋掛けを行う。
- 防除対策上の留意点
 - 夜温が高く風の無い暑い日没時に飛来が多いため、夕方から早朝に防除する。
 - 山林に隣接した圃地や過去に多発した圃地では、特に飛来に注意する。

- ピレスロイド剤やネオニコチノイド剤は、効果が比較的長く持続するため、長期間にわたり飛来する果樹カメムシ類に有効である。ただし、過度な防除は天敵相を破壊し、他の害虫の多発生を招くため、必ず果樹カメムシ類の飛来を確認してから防除する。
- 薬剤散布時には、近隣作物への薬剤の飛散（ドリフト）防止や、早朝の散布作業時には近隣への騒音に注意する。

表2 果樹類（なし・りんご・もも・うめ・ぶどう）のカメムシ類に登録のある主な薬剤

作物名	薬剤名	希釈倍率	使用時期 (収獲前日数)	使用回数	薬剤 系統*1	
なし（6～7月）	ベストガード水溶性	1000倍	14日	3回以内	ニコ	
	Mr.ジョーカー水和剤	2000倍	14日	2回以内	ピレ	
	スミチオン水和剤40	800～1000倍	有袋:14日 無袋:21日	6回以内	リン	
りんご	なし（8月以降）					
	スタークル(アルバルリン)顆粒水溶性	2000倍	前日	3回以内	ニコ	
	ダントツ水溶性	2000～4000倍	前日	3回以内	ニコ	
	アグロスリン水和剤	1000～2000倍	前日	3回以内	ピレ	
	スカウトフロアブル	1500倍	前日	5回以内	ピレ	
	ロゼイ水和剤	1000倍	前日	2回以内	ピレ	
	アクトラ顆粒水溶性	2000倍	7日	2回以内	ニコ	
	スミチオン水和剤40	800～1000倍	30日	3回以内	リン	
	もも	アーデント水和剤	1000倍	前日	3回以内	ピレ
		アグロスリン水和剤	2000倍	前日	5回以内	ピレ
スミチオン水和剤40*2		800～1000倍	3日	6回以内	リン	
うめ	スカウトフロアブル	2000倍	前日	3回以内	ピレ	
ぶどう	ダントツ水溶性	2000～4000倍	前日	3回以内	ニコ	

*1 薬剤系統略称は以下のとおり[ニコ：ネオニコチノイド剤、ピレ：ピレスロイド剤、リン：有機リン剤]。
*2 スミチオン水和剤40は、ももでは5月～6月の散布は葉害を生じるので使用しない。

詳しくは、農業環境指導センターまでお問い合わせください。
TEL028-626-3086
<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/index.html>